

山陰教区 門徒総代会だより

編集・発行：浄土真宗本願寺派山陰教区門徒総代会 会長 上田正吉
〒690-0002 松江市大正町443の1本願寺山陰教堂 TEL 0852-21-4747 FAX 0852-27-8351



松江市内寺院の降誕会・お祝い式の様子

魅力あふれる楽しいお寺づくりを

山陰教区門徒総代会副会長

鳥取因幡組 西念寺 山根一記

本年度山陰教区門徒総代会研修会は「楽しいお寺の作り方」と題してパネルディスカッションを開催しました。昨今、少子高齢化、人口減少問題など日本の構造的問題を抱える中で、価値観が多様化し、社会と生活の変容により家庭内の仏教関連の継承の衰退や葬儀形式の変化など、寺院との関わりが希薄化傾向にあります。

こうした現状の中で持続可能な寺院の要件として、「楽しいお寺」を創造することが求められています。創意工夫し、人が集まるための活動を展開することが重要です。

「魅力あふれるお寺」とするには、個々の寺院が公益的な寺院運営に努めるなど地域における社会的機能を再考し、時代に即応する活動を展開することが大切です。さらには広報活動を強化し情報発信することも重要です。

ところで高齢化社会は宗教思想の普及には有利な状況にあり、楽しいイベントを企画するなど、高齢者への信仰の機縁を増やすことも大切です。また若者から関心をもたれる時流的な施策を展開することも大切です。住職、総代が英知を結集し、協働してお寺の魅力づくりを創出することが持続可能な護持活動の一端になるのではと考えます。

令和元年度 山陰教区門徒総代会研修大会報告

門徒総代会副会長 大迫 幸人

山陰教区門徒総代会の研修大会を出雲市において、参加者210名の参加のもと、昨年に引き続きパネルディスカッションの形式で開催しました。

1 実施内容

- (1)期 日 10月18日(金)
- (2)会 場 ビッグハート出雲
- (3)テーマ 体験を通じた『楽しいお寺のつくり方』
- (4)講 師 能美頭之先生
(本願寺派布教使 山陰教区江津組 浄光寺ご住職)
- (5)パネリスト/テーマ

- ・藤野昭信氏(神門組組長 長楽寺ご住職)
《お寺を知ってもらう為の努力、お寺とは友達が居る場所》
 - ①にぎやかに人が集まるのも一つの楽しいお寺
 - ②ひとりでも、本当に満足されて帰られればこれも一つの楽しいお寺
 - ③公民館でも出来る事との違いは何か、「楽しい」とは何か?
《お寺と公民館の違い…朋はお寺だけ。》
- ・村上征男氏(鳥取因幡組 西法寺総代)
 - ①鳥取地区のお寺の活動事例紹介
 - ②これからのお寺の護持運営
 - ③総代と住職は共同して《お寺僧侶の評価を行う。》
《地域内他宗派の良い影響を受けて組内の活性化を図る。》
- ・森岡俊則氏(松江組 西宗寺総代)
 - ①楽しめる活動事例の紹介
 - ②お寺の情報発信としてのホームページ開設について
 - ③護持会費(年会費)と、本山への法要懇志積立、営繕費積立など経済的基盤づくり
《門徒に限定しない50回忌等の合同法要の実施。春・夏、四季を通じての宿泊研修とホームページの開設》
- ・鎌原茂幸氏(浜田組 正念寺総代)
 - ①文集づくり
 - ②寺院巡りに関する紹介
 - ③仏さまと寺とはこころの安らぎの場
《情報発信…楽しい、楽しむお寺～出来る事を出来る時にやる。楽なお寺～楽しいお寺の賛歌、愛・幸の表現。》

- (6)コーディネーター/上田正吉座長(山陰教区門徒総代会会長 大田西組 敬願寺総代)

2 総 評 (楽しいお寺のつくり方)

- 《住職に対する課題》・寺族・住職は地域行事に積極的に出席参加して欲しい。
- 《お寺に対する課題》・お寺の企業努力により地域に溶け込む事が大切。経済的支援。
・コンサート・音楽イベント等を計画して色々な方が集うお寺に。
- 《門徒に対する課題》・地域の方々に『お寺を守る』機運が高まる様、日々の活動が大切。
・住職を助けて聴聞する事の大切さを共に自覚する必要がある。

3 講 演

能美頭之氏(山陰教区江津組 浄光寺ご住職・本願寺派布教使)

- ・お寺にご縁のない方にもお寺を身近に感じてもらいたいと、お寺を空間として利用し、音縁という活動が続けることで『みんなのお寺』をめざして「音でつながる・お寺でつながる」場所作りに努めた。
- ・「音楽」「お寺体験」「お店開設」「記念講演」「コンサート」「雅楽」「ワイン体験」「マルシェ」「ライブ」「和体験」等を計画し、『お寺を満堂にしようプロジェクト』を地道な活動で実践された。実際、毎回満堂にすることは大変難しくその都度の工夫と試行錯誤が『お寺につながる』『音縁』づくりの大きな財産に成ったと考えます。



4 結 び

昼食休憩での『春雨や落雷師匠』による“古典落語”と“いきいき医学講座”を通じて『笑いと免疫』による健康。私達が生きて行く上で何にも優先して一番大切な事は、“健康な心と健康な体”を維持する事だと教えられました。

今回の研修大会は、『楽しいお寺のつくり方』をテーマにパネルディスカッション型式で各パネラーの実体験と実状報告により、各組・各寺が存続をかけて『寺・住職・門徒・一般』が共に努力しておられる実状を知り得たと考えます。

今後は、今回の研修内容を参考としてお互いの立場で『楽しいお寺』をみだし、浄土真宗の『教え』を理解すべく『聴聞』と『護持』活動に努める事の大切さを、あらためて気付かせてもらった研修大会でした。

出雲仏教徒会

山陰教区門徒総代会理事

神門組 明顕寺総代 樋野宏文

地方自治体の平成大合併以前、旧出雲市内を範囲として八宗、九派、約八十五か寺が加盟して活動をしていたのが「出雲仏教会」です。また、その活動の「両輪の輪」とも言える、各寺院の檀家による「出雲仏教徒会」があり、私も参加させていただいています。

主な活動としては、年に一回仏教会、仏教徒会主催で「仏教講演会」が開催されます。各宗派輪番で担当し、全国でご活躍されている高僧をお招きし、約三百人の方々がご法話を聴聞します。また、仏教徒会独自では、いろいろな宗派のご寺院に参拝したり、研修会を開催したりしてご法話を聴聞します。

そもそも同じ仏教で繋がる各宗派ではありませんが、それぞれの宗祖のお考えの違いに触れることができます。檀家同志で話しても、お宅の宗派ではこう考えるのですか、と学ばせていただきます。

この市町仏教会を取り纏めて

「島根県仏教会」があり、全国には「全日本仏教会」そして「世界仏教徒連盟」へと繋がっています。

「全日本仏教会」会長として、令和二年四月一日から本派本願寺大谷光淳門主が第三十四期会長をお受けになりました。この会は、毎年、全国各都道府県において全国仏教会議が開催されており、くしくも本年十月二日、三日松江市において「第四十五回全日本仏教会議島根大会」が開催されます。現在この会の実行委員会約六十名で会議内容を検討されています。当日は御門主による「世界平和を願う法要」や、各宗派の高僧によるご法話を戴きます。本派からは、釈徹宗師もご出座予定です。詳しくは、各組を通じてご案内があることと思えますが、せっかくの機会ですので、本派からたくさんのご門徒様に参加されることを願っております。

合掌

源左同行ゆかりの願正寺を訪ねて

大田東組門徒総代会代表 和田 徳

令和元年九月九日、大田東組門徒総代研修旅行として、妙好人・因幡の足利源左さんゆかりの鳥取青谷町、願正寺を訪れました。

山陰の妙好人は、「ゆのつ」の浅原才市さん「いなばの足利源左さん」「有福の善太郎さん」の三名が全国的に有名です。

妙好人とは、篤信の人をほめたたえることばです。ご本山では、妙好人の人達をことさら持ち上げ、実像以上の念仏者として扱われたこともあったようです。かといって、妙好人としての価値が下がるわけではありません。

大田東組の住職様他、男女門信徒総勢三十名が大型バスに乗り、朝六時に大田を出発しました。費用は組の助成もあって一人一万円。九時三十分頃に鳥取市青谷町の源左さんゆかりの浄土真宗本願寺派・願正寺に到着しました。その日は、住職様をご門徒の葬儀のため、代



わりに坊守様が本堂で一時間にわたり源左同行について懇切丁寧に説明されました。

彼の体躯は頑丈で、日置郷一番の若衆といわれ、また、その口癖は「ようこそようこそ」であったといわれています。源左さんの清らかで稀有な言行は宗派を超えてたくさんの人々の心を動かしたそうです。江戸末期に青谷町に生まれ、昭和五年に八十九歳で没しました。

源左さんの生家は願正寺の近くにありましたが、時間の都合で行けなかったのが大変心残りでした。

願正寺を出て、東郷湖のほとりにある「はわい温泉・千年亭」で入浴と昼食をしました。その後、鳥取二十世紀梨記念館で鳥取県産の梨三種の食べ比べをしました。どれもおいしく、優劣つけがたい味でした。最後に倉吉に立ち寄り、「倉吉白壁土蔵群」を散策しました。二時半過ぎの時間帯とあって、とても暑く、店先の椅子で食べたソフトクリームの味が忘れられません。

大田へは午後六時頃に全員元気で帰りました。大変有意義な研修旅行でした。

合掌

2018(平成30)年度 山陰教区門徒総代会 一般会計歳計決算

歳入の部

款 項	費 目	30年度決算額	30年度予算額	対比△減	説 明
1	会費	821,000	827,000	△ 6,000	
1	1 当年度会費	779,000	783,000	△ 4,000	30年度会費 (2,000円×383ヶ寺分) + (1,000円×13ヶ寺分・無住寺院)
2	2 前年度未収金	42,000	44,000	△ 2,000	2,000円×21ヶ寺分
2	1 研修会参加費	343,500	330,000	13,500	
1	1 研修会参加費	343,500	330,000	13,500	1,500円×229名分 鳥取18、出雲88、石見123
3	助成金	160,000	160,000	0	
1	1 助成金	160,000	160,000	0	教区助成金10万円/宗派助成金6万円
4	雑収入	2	5,255	△ 5,253	
1	1 雑収入	2	5,255	△ 5,253	預金利息
5	繰越金	407,745	407,745	0	
1	1 前年度繰越金	407,745	407,745	0	2017(平成29)年度繰越金
	合 計	1,732,247	1,730,000	2,247	

歳出の部

款 項	費 目	30年度決算額	30年度予算額	対比※超過	説 明
1	事業費	672,397	800,000	127,603	
1	1 研修費	609,757	700,000	90,243	研修会
2	2 会報印刷費	62,640	100,000	37,360	会報「門徒総代会だより第9号」 カラー印刷・2,000部印刷
2	2 会議費	195,950	250,000	54,050	
1	1 理事会費	113,800	150,000	36,200	理事会(各組代表者)1回
2	2 常任理事会費	82,150	100,000	17,850	常任理事会・正副会長会議
3	3 教化助成費	380,000	400,000	20,000	
1	1 教化助成費	380,000	400,000	20,000	各組助成金 2万円×19組
4	4 組織強化費	30,000	30,000	0	
1	1 組織強化費	30,000	30,000	0	全国門徒総代会教区負担金
5	5 事務費	70,915	90,000	19,085	
1	1 通信印刷費	58,049	80,000	21,951	発信費・郵便振替手数料
2	2 諸費	12,866	10,000	※2,866	事務諸費
6	6 雑費	0	10,000	10,000	
1	1 雑費	0	10,000	10,000	
7	7 出向費	10,000	40,000	30,000	
1	1 全国門徒総代会費	10,000	20,000	10,000	全国門徒総代会出向経費
2	2 連絡協議会費	0	20,000	20,000	
8	8 予備費	0	110,000	110,000	
1	1 予備費	0	110,000	110,000	
	合 計	1,359,262	1,730,000	370,738	

歳入合計 1,732,247 歳出合計 1,359,262 差引金額 372,985 2019年度へ繰越し

この原稿は、二十四節気の立春に書いています。例年は寒さに震える日だと思いが、名前の通り春が来たように暖かい日です。本来の二十四節気は中国の中原(中華文化の発祥地である黄河中下流域にある平原のこと)を中心とした地域の気候をもとに名付けられており、日本で体感する気候とは季節感が合わない名称や時期があるそうです。さて、今回も素晴らしい原稿をたくさんお寄せいただきました。本文中にもありますが、今年の十月三日(土)午前中に松江市の島根県民会館大ホールで第四十五回全日

編集後記

本仏教徒会議島根大会が開催されます。全日本仏教会は、伝統仏教の各宗派合同で設立されており、この大会が島根県で開催されるのは初めての事です。さらには大谷光淳ご門主が今年の四月に全日本仏教会会長にご就任されることになり、タイミングよく島根大会へご親修(法要のご導師)をいただくこととなりました。ご法話は釈徹宗先生にいただきました。各宗派が揃った大会となります。またとない絶好の機会です。たくさんのご参加を心から楽しみにしております。

第45回 全日本仏教徒会議 島根大会のご案内

- ◆ 期日：2020(令和2)年10月3日(土)
- ◆ 時間：9時30分～12時30分
- ◆ 会場：島根県民会館大ホール
- ◆ 内容：大谷光淳ご門主ご親修(法要ご導師)
- ◆ 法話：釈 徹宗 先生
- ◆ 募集：山陰教区500名(組ごとに人数割当)
- ◆ 主催：全日本仏教会・島根県仏教会

本願寺派のみならず、各宗派協力しての企画です。島根県での開催は初めての事です。鳥取県、島根県にかかわらず、お誘いあわせのうへご参加ください。(詳しくは教務所までお問い合わせください。)